

地域包括ケアシステムに活かす、 「リフレクティング」を学ぼう！

主催：地域包括ケアシステムに活かすリフレクティング研究会@YAMAGUCHI

私たちは、近年、オープンダイアログへの関心の高まりとともに非常に注目されているリフレクティングを活用し、地域包括ケアシステムの「山口モデル」を構築することを目指す団体です。

皆さん、「リフレクティング」をご存知でしょうか？多職種で話し合う場でとても役に立つ、全国的にも注目されている新しい会話、対話の方法です。今回も国内におけるリフレクティング研究・実践の第一人者である矢原隆行氏をお招きすることができました！！このリフレクティングが地域包括ケアシステムの構築に貢献できることを実感していただきたいと思っています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- 期日 平成30年6月2日(土)、平成30年6月3日(日)
- 場所 きららドーム・コミュニティールーム(山口県山口市阿知須509番50)
住所：山口県山口市阿知須509番50 電話：0836-65-6900
- 講師 矢原 隆行氏 熊本大学大学院社会文化科学研究科 教授
- 募集人員 6月2日：50名 6月3日：20名
- 参加費 6月2日～6月3日¥8,000円 2日のみ：¥2,000円 3日のみ：¥7,000円

プログラム

6月2日(1日目)

- 13:30 受付
- 14:00～17:00 ナラティブ・アプローチに基づく
画期的な事例検討：
「体験！アズ・イフ・ワーク」
- 18:30～ 交流会(希望者のみ)
※会場は当日お知らせいたします。

6月3日(2日目)

- 10:00～13:00 「リフレクティング」ワークショップ
- 13:00～15:00 ランチタイム
(希望者はお弁当を用意します)
- 15:00～17:00 「リフレクティング」ワークショップ
- 17:00 終了

講師紹介



矢原 隆行氏

熊本大学大学院社会文化科学研究科 教授
単書：『リフレクティング 会話についての会話
という方法』(ナカニシヤ出版,2016)
共編著：『ナラティブからコミュニケーションへ
ーリフレクティング・プロセスの実践』(弘
文堂,2008)

■平成30年5月25日までに ref-yg17@excite.co.jp にメールにてお申込みください。弁当の有無も合わせてよろしくお願ひ致します。ホームページからもお申込みいただけます。また6月2日の終了後に参加者の交流会を予定しています。ご希望の方はメールでお知らせください。

後援の一覧：一般社団法人山口県介護福祉士会、山口県介護支援専門員協会、
(申請中含む) 一般社団法人山口県社会福祉士会、山口県相談支援専門員協会
さくら介護事業所、社会福祉法人山口県社会福祉協議会



What is reflecting



リフレクティングとは？

リフレクティングにおいて、「はなす」ことを外的会話(他者との会話)、「きく」ことを内的会話(自分との会話、あるいは、自分の内なる他者との会話)と呼びます。この二つの会話の区別はとても大切なことなので、ぜひ心に留めておいてください。リフレクティングは、この二種の会話を丁寧に重ね合わせ、うつし込み合わせながら展開していく(すなわち、会話について会話する)ための工夫に満ちた方法なのです。

引用文献

矢原隆行:リフレクティング:会話についての会話という方法 p24(ナカニシヤ出版,2016)

効果

リフレクティングはセラピーの分野だけでなく、スーパービジョンやスタッフ・ミーティング、経営者や管理職の会議、事例検討や多職種連携の促進などに対して良い変化を導くことができます。また、参加者のお互いの理解の促進や信頼関係の構築にも役立ちます。



なぜ地域包括ケアシステムに？

地域包括ケアシステムには多職種連携が求められています。特に地域ケア会議では様々な立場の方が参加するため、そこにダイアログ実質がないと、表面的、形式的なものに終わりがちです。リフレクティングは、そうした会議において参加者全員にとって、とても有意義なものになるでしょう。北欧では多職種連携会議の方法として広く活用されています。